

辺野古の海に土砂投入を強行 世論は反対が圧倒

12月14日、政府は米軍普天間飛行場の移設計画にかかわって、沖縄県名護市辺野古沿岸への土砂投入を強行した。9月の県知事選で玉城知事を誕生させた沖縄県民の民意を切り捨てるものだ。安倍首相は「県民の気持ちに

寄り添う」と繰り返し表明してきたが、まったく逆の行動に出た。朝日新聞が12月15・16日に実施した世論調査でも、土砂投入に反対が60%にのぼり、賛成の26%を圧倒した。安倍政権の姿勢を問いつづけよう。

神奈川県本部は二俣川駅前で23人が参加した署名行動で大反響！（2018年11月25日）



「とてもやりがいがある」20・7%、「やりがいがある」70・3%、「やりたいところがあった」5・3%、「今の仕事がいやだ」3・7%と、やりがいを実感する回答はこれまでと変わらず、9割を超えました。

一方、「仕事や職場について、とくに不満や不安を感じる」と(3つまで)は、「賃金が安い」67・4%、「人手が足りない」48・8%、「休暇が取れない」29・8%、「仕事がつらい」25・0

低賃金、人手不足
休暇取れない

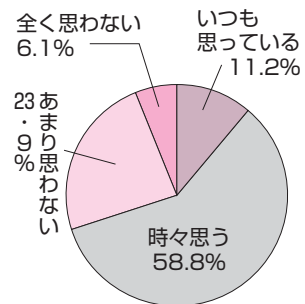
2019年 スタート

ゼツタイ
実現！
大幅
増員
賃金
アップ

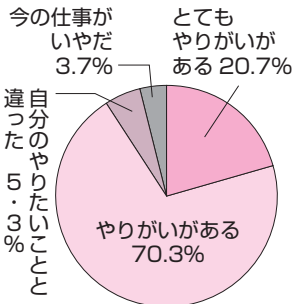
19春闘アンケート中間集計

もう限界！「やめたいと思う」が7割に 働きつづけられる福祉職場に

◆仕事をやめたいと思ったことはありますか



◆今の仕事についてどう思いますか



アンケートに寄せられた声

「日々の業務や保育所準備に追われ、休日にもクラスのLINEが鳴りやまず、休まらない。ストレスと疲れで家族との関係もうまくいかない時がある」（保育）、「働いている時間の給料が出ない仕事に我慢してきた9年間で、心身ともに疲れてしまい、転職を決心した」（保育所）、「勤務時間があってないようなもの。常に定時で帰れず、予定をたてづらい」（児童養護施設）、「時間外の指示がなくても、仕事を終わらせなければならないのでサービス残業になっている。上司に言っても、帰るようにと言われるだけで代わってくれるわけではなく、何も解決しない」（障害者通所施設）、「常に人員不足で、夜勤の回数も多く、ずっと疲れがとれない。体調が悪くてなかなか回復しない。人を募集しても応募がなかったり、やっと採用者があっても続かず辞めてしまったり、今後も解消されないのではという不安がある。仕事をいつまでつづけられるか心配」（高齢者入所施設）

「普通段の仕事での心身の疲れ」は、「とても疲れる」47・2%、「時々疲れを感じる」が49・0%で、「とても疲れる」は前年より3・6ポイント悪化しました。

「仕事をやめたいと思う」ことはあるかについて、「いつも思っている」11・2%、「時々思う」58・8%の合計は70

不払いがないか
チェックしよう

先月の超勤時間や残業

「不払いがないかチェックしよう」

19春闘での月額要求額は加重平均で3万3333円と、前年の最終3万1700円を21622円上回って過去最高水準となり、賃上げ要求は切実となっています。

就業規則上の労働時間を超えて仕事をしていないか、その分が不払いになっているか、分會と

一人ひとりが検証する必要がある。実際に「ある」ことを、仕方がないとして「ない」ことにしてしまえば、経営側や国がその労働実態を把握することなく、現状が放置されてしまいます。

働き方の見直しをすめながら、自分の心身や家族との生活を犠牲することなく、働きつづけていける条件整備が求められています。大幅な増員・賃金引き上げを迫り、絶対に実現する2019年にしていきましょう。

まんがタイム



福祉の風

フランスでは、「社会のトップと最底辺の人々の格差があまりに大きい」と、11月後半から連続して数万人規模のデモが各地でおこなわれた。この「黄色いベスト」運動は、燃料税の引き上げをはじめ、大企業・富裕層減税や労働法制改悪など、マクロン政権の「改革」に抗議している。こうした運動は、国民・労働者が自らの生活を通して、「改革」が国民生活を犠牲にするものだと見抜き、自覚的・自主的に自分の思いから怒り、抗議し、改善を求め、切り開こうとしている姿が見える。

安倍政権の働き方「改革」は、労働者にとっての毒が盛り込まれ、働き方が改善される危険がある。時間外労働の上限規制の問題や、今後改悪がねらわれる高度プロフェッショナル制度などである。自分たちの働き方は、労働者・労働組合が自分たちで考え、つくる必要がある。自らが学び行動する。労働組合しかできない力強い19春闘にしていきたい。（島村）

福祉のなかま 今月の主張

職員が確保できず、最低限の支援も満足に提供できない。予定していた事業がスタッフを確保できず職員を下げ、開所できずを得ない。「福祉が足りない」。

19春闘 大幅増員・賃金引き上げを

めざして大いに奮闘しよう

人手不足の要因は、第1に将来の見通しが持てない低い賃金実態と厳しい労働環境にあります。第2に現場実態に合わない国の職員配置基準の低さにあります。

す。しかも新たな改善策はキャリアに応じて支給することを要件にし、主な対象を一部の職員にとどめています。さらに、専門的な知識と経験、対利用者・職員との高いコミュニケーション能力が求められることになり、一層現場に負担が増えることになり、混乱を招くことになり、おおもとは、福祉をなすに必要とする政治があります。その政治を根本から転換させるためには、福祉労働

い「事態が深刻になっていきます。人手の確保もままならない危機的な状況の打開に向けて、抜本的改善を求める切実な声が高まっています。

ところが安倍政権は、低い国基準をもとに処遇改善をおこなっています。そのために改善額は薄まり、抜本的改善とはほど遠い水準にとどまっています。

者の仕事に見合う賃金を「働き続けられる」という前提で、外国人労働者や無資格者による対策をすすめていく方向です。これでは深刻な人手不足の解消にはつながりません。

4月には統一地方選挙があります。住民の拳があらわに、福祉をなすに必要とする政治を根本から転換させるためには、福祉労働

福祉保育所
土田昭一 中央執行委員長



労働基準法が定めるのは、最低基準です。福祉労働者が人たるに値する生活を営むため、違反をなくして、労働条件を底上げしたい

働き続けられる職場を私たち自身でつくっていくために、組合活動での学びを深めて声を上げ、未来へ子どもたちを守る！

福岡 風の会
川口 紗也さん（保育所）

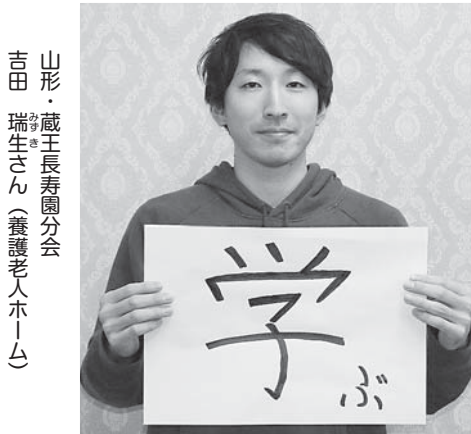


神奈川・横浜市社協分会
小澤 幸さん（社会福祉協議会）

自分で選んだ仕事だからこそ、楽しくできる職場環境になるように、私たち職員の立場からやれることをやっていきたい



福祉の勉強はもちろん、福祉情勢についてもよく学び、利用者がよりよい環境で過ごせるように



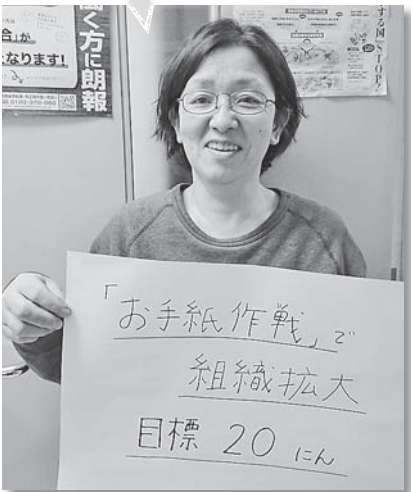
山形・蔵王長寿園分会
吉田 瑞生さん（養護老人ホーム）

岩手 岩手愛児会分会
笹原 裕樹さん（児童心理治療施設）



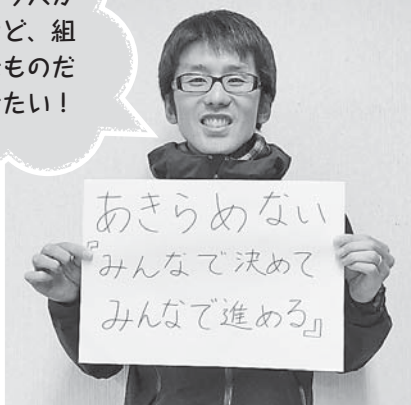
少しずつでも組合の仲間を増やし団結を深めていながら、福祉労働者の処遇の改善を訴えかけていきたい

職場の1割に満たない組合員数ですが、全職員にチラシ・加入書・署名の3点セットの「直接手渡し作戦」で組合を知らせて、絶対ななかまを増やします！



北海道・緑花分会
後藤 珠希さん（重症心身障害児施設）

できっこないって言う人がいるかもしれないけど、組合活動って自主的なものだから、絶対実現させたい！



東海・さくらんぼの会
濱田 康作さん（障害者差別・相談支援事業所）

生活していく中でいろいろな場面を子どもたちと一緒に、元気いっぱい楽しくすごして、お互いに成長していけたらいいな



福井・ゆきんご分会
藤好さん（保育所）

ホントの意味で平和な年にしたいのさ



たびかさなる介護保険制度の改悪で職員は疲れきって、バラバラにされています。組合拡大して、介護現場の現状を改善したい



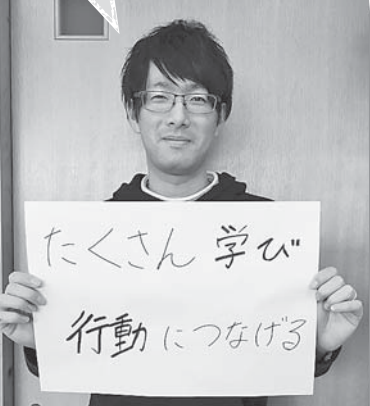
京都・高齢福祉支部
原谷こぶしの里分会
松尾 由紀さん（ヘルパー事業所）

2019年 ゼットタイ実現！ 私のチャレンジ

新しい年が始まりました。亥年の2019年は、目標に向かって猪突猛進といきたいところです。必ずやりとげようという12人の「ゼットタイ実現！みんなのチャレンジメッセージ」です。みなさんが掲げるチャレンジは？周囲や分会などで話題にしてみましょう。

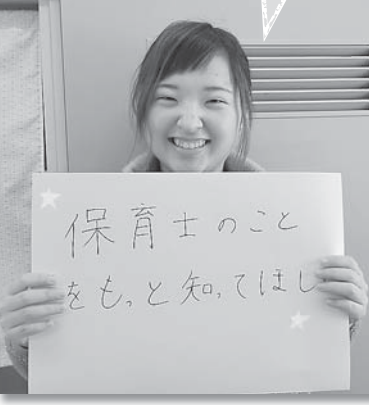
みんなで目標を出しあうと元気になるんじゃ！

これまで受け身で学ぶことが多かったですが、今年は自分から学び、行動につなげていける能動的な1年にします

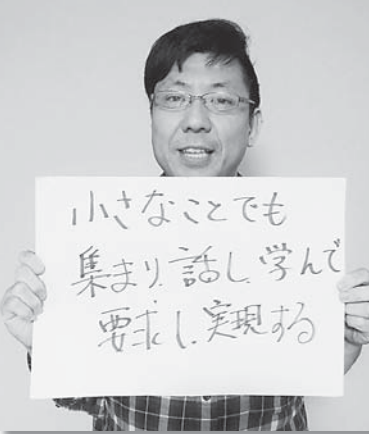


高知・のぞみ保育園分会
村岡 淳さん（保育所）

「給与が少ない」「休憩がとりにくい」と、保育士の多くは思っています。保育士の現状をもっといろいろな人に知ってもらい、いっしょに改善していきたい



香川・こぶし今里分会
小西 ひろみさん（保育所）



兵庫・中山福祉センター分会
田中 健一さん（特別養護老人ホーム）

組合役員がいても厳しい職場ですが、わずかな時間・人数でも集まって、仲間といっしょに少しでも働きやすい職場にしたい



京都・高齢福祉支部
原谷こぶしの里分会
松尾 由紀さん（ヘルパー事業所）

19春闘討論集会と第1回全国闘争委員会を開催 大幅な増員・賃金の引き上げを実現させよう

12月1・2日 東京



12月1・2日、東京都内で福祉保育19春闘討論集会を開催し、21地方組織から32人と執行部あわせて52人が出席しました。基調報告、特別報告、学習講演、グループ討論を通じて、学びと交流を深めあいました。基調報告では、①労働法の厳守 ②福祉諸制度の規制緩和を許さない ③職場でのたたかい強化 ④「3.14 ストを含む全国いっせい行動」の成

功が強調されました。2日午後の第1回全国闘争委員会には19地方組織から22人と執行部あわせて40人が出席し、「3.14 ストを含む全国いっせい行動」にむけた課題や意見を出しあいました。両日に出された意見も踏まえ、1月19・20日の第55回中央委員会で春闘方針といっせい行動の要綱を論議し、決定していきます。

教えて「福志月先生」126 統一地方選挙って何？の巻



案・タミヤ 画・ニムラ

とりくみのお知らせ

- 1月
●19日(土) 13:00~17:50 第55回中央委員会(都内)
~20日(日) 9:00~12:00 *春闘方針や統一要求を決定します
●20日(日) 13:00~16:30 全国種別部会代表者会議(都内)

- 3月
●14日(木) 3.14ストを含む全国いっせい行動 *すべての組合員が何らかの行動に参加しましょう！





本合 美菜さん

埼玉県本部執行委員 あかね保育園分会



Myメッセージ

ふだん感じていることを共有できる場を大切に

分会長を経て、今年度から県本部の執行委員になったことを「わからないこと」が多くて自分の無知さを痛感し、もっと組合の活動を学びたかった」と語り、「わからないで終わらせてしまったらもったいない。知識を身につけると自分の考えもはっきりしてくる」と前向きです。

県本部の役員も「分会長の頃から積極的に学習の場に参加して、分会活

動も活発になってきた。自分をしっかり持っている人」と太鼓判を押します。

「何でも気軽に話せる職員関係や職場の雰囲気」を意識して、「分会の会議などで集まった時に、組合としての大きな課題以外にも、困っていることや悩みなど、保育をしていて個々がふだん感じていることを話して共有することを大事にしたい」と強調します。

保育士になって9年目

で、やりがいを感じるのは「子どものかわいい姿や成長したところなどを、職員や保護者と共有して笑い喜びあえた時」と言います。忙しいなかでも「園では子どもといっしょにたくさん笑うので、仕事中が一番元気」という日々。ストレスは「友人と仕事やプライベートのことを延々と話すこと」で解消して、6月には母親になる予定です。

趣味はコンサート鑑賞や舞台観劇。



答え A B C D E F

【解き方】二重ワクの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉はなに？

「ヨコ」のカギ

- ①正月のおそなえ
- ②満天の……空
- ③……両成敗
- ④新年に初めて毛筆で文字を書くこと
- ⑤現金をココに入れて貯める人もいる
- ⑥値段が安いこと
- ⑦鶴の……返し
- ⑧右へ曲がること

「タテ」のカギ

- ①モリ……問題は未解決
- ②一年の計は……にあり
- ③まだ完成していないこと、……の利器
- ④メトロ……鉄
- ⑤缶詰・乾物・レトルトなどは……食品
- ⑥お正月に神棚などに飾ります
- ⑦大気の圧力、1……は1013ヘクトパスカル
- ⑧一二三四、五六七八
- ⑨ボチ袋に入れます



- ⑩いわゆる「カラスの足跡」がでる場所
- ⑪魚市場の値段の決めかた
- ⑫歯のお医者さん
- ⑬夫婦とも言います
- ⑭代わりに使う……品
- ⑮薬品を使って害虫……
- ⑯模倣のこと
- ⑰昔の国名はセイロン

応募方法

答えと「福祉のなかま」の気になった記事の感想、近況などを必ず添えて、ハガキかFAX、メールで送付ください（地方組織・分会、氏名、住所明記）。紙面やホームページ等に掲載させていただくことがありますので、ご了承ください。

締切▶2月15日

発表▶2019年3月号

賞品▶正解者の中から5人の方に図書カード（1000円）進呈

宛先▶「福祉のなかま」編集部



あなたの家は大丈夫？



自然災害への備えは万全ですか？

昨年は7月の西日本豪雨に始まり、9月の台風21号、台風24号などで、床上浸水等の水害や強風による屋根の破損や飛来物による窓ガラスの破損等、広範囲での被害がありました。

福祉保育労共済の火災共済は、風水害（雪害を含む）による建物の被害（台風による屋根の一部損壊、ベランダの破損等）があり、修理の見積もりで一定額以上の損害額になった場合には、給付の対象（給付限度あり）となります。

※詳細は、お問い合わせください。

☎0120-294-335

地震もたびたび起きており、大阪では小学校の塀が倒壊したり、北海道では液状化現象で住めなくなったり、土砂が押し寄せ家財が使えなくなったり等の被害もありました。

※地震による建物等の被害は給付対象外

台風や豪雨や地震によって、住宅等の被害だけではなく、死傷者も出ていて、予測できない自然災害の恐ろしさをあらためて実感させられました。

「ワンコイン共済」と火災共済で安心・安全の暮らしを!!

台風や地震の被害が昨年なかった地域も、今後も被害が起こらないという保障はありません。

組合員のみなさんの自然災害による被害に対しては、「ふくしろう基金」による義援金が支給される場合がありますが、火災共済の加入者であれば、風水害による建物の被害への給付も受けられるので、経済的な負担が少なくて済むことになります。

火災共済は、ワンコイン共済の加入者なら誰でも加入できます（名義人が家族の場合でも、同一生計であれば加入ができます）。

※詳細は、お問い合わせください。

いつ被害にあうかわからないだけに、「備えあれば憂いなし」です。これからが冬本番ですが、雪害による屋根やカーポート等の破損なども給付対象です。

この機会に火災共済への加入（ワンコイン共済との同時加入も可能）をお勧めします。

福祉保育労共済で、健康と暮らしに安心・安全を備えましょう。

福祉保育労の火災共済

福祉保育労の火災共済の掛金は、全国一律で地域による格差がありません。もちろん値上げの予定もなし。火災はもちろん、落雷による電化製品等の被害、風水害等（雪害も含む）、突発的な第三者による損害も保障の対象です。



風水害等（雪害も含む）



突発的な第三者の加害行為



落雷による電化製品等の被害